## 第77回秋季東北地区高等学校野球宮城県大会

□大会第8日日

9月29日(日)



【石巻	上 業 】	打数	安打	打点
(遊)	遠藤 徹平	4	0	0
(投)右	遠藤 颯汰	3	0	0
(捕)	西條 玲生	4	0	0
(右)	岩槻 遼大	2	0	0
投	伊藤 海斗	2	2	0
(左)	髙松 駿希	4	0	0
(中)	鈴木 淳大	3	1	0
(_)	髙橋 海星	3	0	1
()	野口 裕雅	3	0	0
$(\equiv)$	渥美 太誠	2	0	0
打三	金澤 優真	1	0	0

【東北学	院榴ケ岡】	打数	安打	打点
(中)	阿部 真心	3	1	0
(捕)	佐々木 大	2	0	0
(_)	後藤 翔太	3	1	1
(左)	佐藤 浩佑	4	1	2
(右)	武田 琉平	4	1	1
(遊)	鈴木 幸心	4	2	0
(-)	平山 翔太	4	1	0
(投)	佐々木 健	3	0	0
(三)	佐々木 琥	3	0	0
打三	七森飛	1	0	0

	投手名	打数	投球数	投球回数	化妆器堆款	被安打	本塁打	犠打	犠飛	三振	四球	死球	暴投	ボーク	失点	自責点
	遠藤 颯汰	25	21	100	5	0	5	0	0	0	4	3	1	1	0	4
ı	伊藤 海斗	11	10	35	3	0	2	0	1	0	2	0	0	0	0	0
ı																
ı																

投手名	打数	投球数	投球回数	<b>504日 祖歌</b>	被安打	本塁打	犠打	犠飛	三振	四球	死球	暴投	ボーク	失点	自責点
佐々木 健斗	32	31	116	9	0	3	0	0	0	8	1	0	0	0	1
,															

【評】

東北学院榴ケ岡、エース佐々木健斗の好投で念願の東北大会出場決定。

東北学院榴ケ岡は、3回3四死球で作った一死満塁のチャンスに四番佐藤浩佑のレフト前安打で2点を先制、5回にも1四球と長短 打を絡め2点を追加した。その得点をエースの佐々木健斗が、序盤の4者連続三振を含む8三振を奪い相手打線に隙を与えず、1失

点の完投でチームを初の東北大会出場に導いた。



【 古 川	学 園 】	打数	安打	打点
(左)	黒沢 惇人	4	0	0
(投)中投	櫻井 琉貴	4	1	0
遊	蘇武 朝陽	0	0	0
(遊)投	菊地 奏汰	4	0	0
()	小川 友輔	2	0	0
(三)	大島 崚時	3	0	0
打	門間 凱生	1	0	0
(右)	吉田尊	2	1	0
()	大柳 悠音	3	1	0
(捕)	佐藤 泉稀	3	0	0
中	吉田 昂平	1	1	0
投	木谷 眞斗	0	0	0
中	櫻井 清人	2	0	0

【仙台	育 英 】	打数	安打	打点
(中)	原 亜佑久	2	0	0
(_)	齊藤 陽翔	2	1	1
打	杉山 青夢 山中 琉空	1	0	0
1	山中 琉空	1	0	0
打	田山纏	1	1	1
走右	倉田 葵生	0	0	0
(三)	中岡 有飛	4	3	3
(捕)	川尻 結大	4	1	1
(右)	土屋 璃空	3	0	0
打	上田 夢輝	1	0	0
1 1	梶井 湊斗	0	0	0
(左)	和賀 颯真	3	1	0
()	髙田 庵冬	4	0	0
(投)	吉川 陽大	3	1	1
投	山元 一心	1	0	0
投	吉田 瑞己	0	0	0
(遊)	今野 琉成	3	0	0

投手名	打数	投球数	投球回数	化分泌性数	被安打	本塁打	犠打	犠飛	三振	四球	死球	暴投	ボーク	失点	自責点
櫻井 琉貴	9	37	2	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
木谷 眞斗	1	10	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1
櫻井 琉貴	22	111	5	0	6	0	1	0	3	5	1	0	0	7	3
菊地 奏汰	1	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

投手名	打数	投球数	投球回数	<b>校30日 电数</b>	被安打	本塁打	犠打	犠飛	三振	四球	死球	暴投	ボーク	失点	自責点
吉川 陽大	24	112	7	0	4	0	0	0	8	0	2	0	0	0	0
山元 一心	4	18	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
吉田 瑞己	1	9	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0

【評】

仙台育英学園が3年ぶりに秋の県大会を制した。両エースが安定した立ちあがりで始まった決勝戦だったが、3回裏に育英が継投を試みた相

手の二番手投手から、四球を皮切りに盗塁と暴投さらに投手強襲安打で1点を先制。その後、再登板となった古川学園のエース櫻井琉が粘り

の投球を見せるも、中盤に失策絡みの失点を重ね、最後は疲れの見えた終盤8回に連打を浴び、育英打線の前に屈した。古川学園も5回まで

は好機も作り善戦したが、6回以降は育英投手陣に無安打と抑え込まれ、昨年に続いての悔しい準優勝となった。